

09・本気腰振りされながら『いくのダメ』連呼される貝合わせセックスで完全負けイキする

〈ヘシチュエーション・演技の方向性〉

トラック8から数十分後。

主人公と鳴瀬が、鳴瀬の自宅でセックスするシチュエーション。

シチュエーションとしてはトラック06と似ているが、今度は鳴瀬がリードしていて、主人公を気持ちよくするく同時に気持ちよくなる、と展開する。

場所移動はなし。ずっと自室で過ごす。

● 左 30センチ

■ 自室のベッドに座り、主人公とキスしている。

完全にえっちスイッチが入っているような濃厚で積極的なキス
「【※セリフ終わりまで※ 呼吸交じりに唇にキスする。

夢中でねっとり、濃厚なキス。すでにかなり興奮している】

んっふ……ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡ ちゅ♡

れえろ……ふちゅっ♡ はあ……ちゅ♡

[illegible]

SE1 主人公と鳴瀬がベッドで動く音

【最初から最後まで流す】

鳴瀬、主人公の右耳側に移動して、耳にキスをする。

● 右 0 センチ

■ 右耳にキスする

「※しばらく※ 右耳にキスする。」

わざと音を立てるような、じやれつくようなキス】

あんむ……ちゅ♡

ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅ♡
ちゅっ♡

れろろ……ぴちゅっ♡

■そのまま話し始める

【うつとりと興奮気味に】

はあ……顔かい♡

【あまあまに、嬉しそうにからかう】

キスしながらおっぱいさわさわれんの気持ちいい？♡

さっきから一杯びくびくしてるもんね……♡

かい……

【※セリフ終わりまで※ 右耳を舐める。

『話していたかと思ったら耳を舐め始める』という感じで

ちゅ♡ ちゅ♡ ぺろろ♡

はあんむ……れえろ……れろ♡

ちゅっぽ、ちゅっぽ、ちゅっぽ♡

えれれれ……ちゅぽ♡」

〈主人公〉

「……♡」

● 右 0センチ

「【あまあまに優しくたずねる】

ん……？♡ 服の上からの切ない？♡

身体くねくねしちやってるもんね……♡

【意味は『身体全体……いや、胸を、自分から押し付けてきているよね』】
身体、てかおっぱい、自分から押し付けてきてない……？♡
可愛いね♡」

鳴瀬、顔を動かして、今度は正面からキスする。

● 正面 0センチ

■ 唇にキスする

「【※セリフ終わりまで※ 唇にキスする。

夢中でねつとり、濃厚なキス。すでにかなり興奮している】

あんむ……ちゅ♡ れえろ……ちゅっ♡

ちゅぷぷ……れるおっ♡

れーろ、れーろ、れーろ、れーろ♡」

〈主人公〉

「あぁっ……♡」

●正面 0センチ

「うつとりと唇を離して、あまあまに煽る。『おつきⅡ勃起』」

ふは……♡

ああ……♡ 可愛い声出ちやったね♡

お耳ペるペるされながらお乳悪戯されるの、気持ちいいもんね♡

乳首もさあ♡ もう絶対おつきしちやってるでしょ♡

触られたくておつきして♡ あたしの事待ってるよね……♡

【※1回※ 唇にキスする。軽く触れるだけのキス】

ちゅ♡

SE2 鳴瀬が制服越しに主人公の胸を触る音

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

【▲1 でフェードアウトする】

●正面 0センチ

■主人公の乳首を、制服の上から探り当てるようにして触りながら

「【にやにやと嬉しそうに。『ここ』乳首の位置』ヤバい』あまりにも勃起しすぎている』
ほら……ここでしょ？♡ ここ♡ ここだよね♡
服の上からでもわかるってヤバくない？♡
よっぽど硬あくなっちゃってんだね……♡」

〈主人公〉

「これは♡ 違います♡ 違いますからあつ……♡」

● 正面 0センチ

「【にやにやと、あまあまにからかう】

……え？♡ これは違うの？♡

乳首じゃなくて♡ 生地（きじ）の出っ張ったところなの？♡
ほんとかなあ。

【意味は『制服をめくりあげて、胸を露出して？ 乳首がちゃんと通常の状態か、確かめよう』

じゃあ確かめるからさ、おっぱい出そ？♡

いい子にして寝てる乳首かどうか、確かめさせて？♡」

〈主人公〉

「……………」
♥

主人公、恥ずかしそうに、あまあまに首を振る。

だが、自分がどのように反応しようと、これからどうされるのかはわかっている。

● 正面 0センチ

■ 主人公が、自分の両手に胸をしっかり押し付けてきている

「【にやにやと、あまあまにからかう。『にやいの』ないの』」

え〜？ ♥ やあなのお？ ♥

こんなに手に乗っけてくる癖に ♥ おっぱい見せたくにやいの？ ♥

〈主人公

「……………」
♥

▲ 1 ここでSEE2がフェードアウトする

鳴瀬、右耳側に移動してささやく。

SE3 鳴瀬が主人公の服をめくりあげる音

【最初から最後まで流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

● 右 0センチ 無声音ささやき&耳舐め

■ 右耳にささやきながら、主人公の制服をめくりあげる。

それから、ブラジャーの中に手を入れていく方法で、乳首の状態を確かめようとする
「【※マークのセリフ終わりまでささやく。

時折耳舐めとキスを混ぜて、主人公の興奮を煽る。

ひそひそと、あまあまに】

じやくあ……手え入れちやお。

ちゅ♡ あんふ……ちゅぶっ♡ ちゅぶふ……ちゅ♡

■ ここで乳首に触れる

【少し驚いて、興奮した感じで嬉しそうに】

あっ……♡

【※特にひそひそと※

※聞き手を特にドキツとさせるイメージでお願いします】

やっぱ勃（た）ってるじゃん……♡
がちがちで♡ こりこりになってゆよ？♡※

● 右 0センチ

■ 主人公の乳首をいじりながら話す

「興奮が高まっていく。『こお？』こう？』この勃起状態だったのか？』

『やらちい♡いやらしい♡』

はく凄……硬あ……♡ もしかしてずっとこお？♡

学校からうちまで♡ こんな硬あくして歩いてたのか♡

やらちいね♡

【※セリフ終わりまで※ 更に興奮して、興奮気味の呼吸交じりになっていく】

はあ、はあ、ふうう……♡

あく……凄……♡ やばいじゃん……♡ 可愛すぎ……♡

もう無理だわ……♡ ブラずらしちゃうね……♡

SE 4 鳴瀬が主人公の下着をずり下ろす音

【最初から最後まで流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

● 右 0センチ

■主人公のブラジャーを胸の下にずり下して、乳首をいじりながら話す。

先ほどよりも触りやすくなった事で、触り方に遠慮がなくなっていく

「はあ、はあ、はああ………♥

「うつとりと甘くため息をつく。そして、独り言のようになっていく」

はあ………♥ 何（なん）でこんな硬いのさ………♥ やばあ………♥

【※2回※ 耳にキスする。ねっとりしたキス】

はあんむ………ちゅ………♥

はあ………ずっとぐにぐにされてるう………♥

はあ、はあ、はあ………♥

はあ、はあっ、はああっ………♥

〈主人公〉

「………あ♥ ………あ♥ あ♥」

● 右 0センチ

「【あまあまに。もっと喘ぐように促す。

『えりやい ㍲えらい』『きもちく ㍲気持ちよく』『ぐりぐり ㍲乳首への執拗な愛撫』

『あんあんちよう ㍲好きなように喘いでいい』

『びくんびくんちよう ㍲びくんびくんと痙攣するくらい気持ちよくなるう』

うん ㍲ エロい声一杯聞かせて？ ㍲

硬くなれたえりやい子の乳首は ㍲

なるのお手手で一杯きもちくなつて ㍲

一杯ぐりぐりであんあんちような ㍲

こうやって…… ㍲

■ 自分で擬音を言いながら、その音に近いやり方で、執拗に乳首を愛撫する

くりくり ㍲ しこしこ ㍲

こりこり ㍲ ぐにぐに ㍲ ぐりぐり ㍲ すりすり ㍲

ぐいっ…… ㍲ ぐいっ…… ㍲

つてして、沢山感じてびくんびくんちような ㍲

■ 乳首をいじりながら意地悪を言つて、更に興奮させようとする

君の乳首はさ？

こんな風に一生 ㍲ これからも一生あたしに弄（いじ）られて ㍲

どんなエロい形になつちやうなんだよ？ ㍲

【特にあまあまに、ちよつと意地悪に。そんな未来を想像させるような感じで。

意味は『乳首は伸びてしまうだろうし、触られすぎて黒ずむだろうし、ますます、たやすく勃起するようになるだろう』

きつと沢山伸びちやうし……恥ずかしい色になっちやうし……硬あくなるのも、もつと上手になりゆかもね♡

でもやめないよ。ごめんね♡

【うっとり、興奮が抑えきれない感じで】

はあ……君のおっぱい可愛すぎ。

ずっとしてあげたくなっちやうよお……

【※4回※ 耳にキスする。ねっとりしたキス】

はあんむ……ちゅっ♡

ちゅっ♡ ちゅ

■自分で擬音を言いながら、その音に近いやり方で、執拗に乳首を愛撫する

ほら……ぐりぐり♡ぐにぐに♡くりくり♡くるくる……

【特にあまあまに、ちよつと意地悪に。

『でちよ!!でしょ』『ちたくなつてゆんでちよ!!したくなつてるんでしょ』

……でもお、君はもう苦しいんでちよ♡

乳首いじめだけじゃなくて♡

おまんこもちたくなつてゆんでちよ♡

【※1回※ 耳にキスする。軽く触れるだけのキス】
ちゅ♡

■主人公が何度も深く頷く。

それを受けて、主人公からどうしてほしいか引き出そうとする

【あまあまに。『言えゅⅡ言える』『ぼちいⅡ欲しい』】

よちよち……♡じゃあ、言えゅか？

どんな事ちてぼちいのか、ちゃんと言えゅか？♡

〈主人公〉

「……なる先輩と一緒に♡一緒に♡」

鳴瀬、主人公の正面側に回る。

主人公を見つめながら、あまあまに頷く。

●正面 15センチ

「【あまあまに、嬉しそうに続きを促す】

……うん」

〈主人公〉

「一緒に気持ちよくなりたいです♥」

● 正面 15センチ

「【あまあまに、嬉しそうに続きを促す】

うん♥

【嬉しさをこらえきれない感じで。

意味は『貝合わせで、二人一緒に気持ちよくなるセックスがしたいのか』

ふふふふ……♥

おまんこにおまんこぐりぐりちてイきたいのか♥

なると一緒にイくイくちたいのか♥」

〈主人公〉

「はい♥」

● 正面 15センチ

「【甘くかすれた声で。特にセクシーな印象で。

リードして気持ちよくしてあげる』

いいよ……♥

238 意味は『今日は私が、思いっきり

今日はあたしががつりしてあげるからね……」

鳴瀬、体勢を変えるため、また、二人とも服を脱ぐために、少し離れる。

SE5 鳴瀬が動く音

【最初から最後まで流す】

SE6 鳴瀬が下着を脱ぐ音

【最初から最後まで流す】

【0—1秒ほど流してから、次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

●正面 30センチ

■主人公の目の前で、ショーツだけを脱ぐ。また、見せつけるように脱いで主人公の興奮を煽りたいところだが、興奮しすぎてうまくいかない

「【※8回※ 興奮気味に呼吸する。

ゆっくりとした呼吸だが、興奮が伝わってくる感じで」

んっ……♡ はああ……ふう……。

はー……っ……はー……っ♡ はー……っ。 はー……っ♡

んっ……ふ。

■脱いだショーツを主人公に見せて。今日は通常の下着だが、気に入ったデザインの下着。クロツチの部分がたっぷり濡れていて、それも見せる

【照れ笑いして。『本当に、そこそこに照れて』という感じで。『きもちく〓気持ちよく』ふふ。今日は紐パンじゃないけど……可愛いしょ？♡
ほら……見て？ あたしも濡れちゃってる。

君の可愛い声聞いただけでこうなっちゃうんだよなあ……♡
一緒にきもちくなろうね。

■すでにショーツを脱いでいる主人公をベッドに寝かせて近づく。
それから、具合わせしやすいように、腰だけ上げるよう促すと、足を絡ませる
ちよつと腰上げて……」

SE7 主人公が動く音

【最初から最後まで流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

●正面 30センチ

「【※6回※ 興奮気味に呼吸する。】

ゆっくりとした呼吸だが、興奮が伝わってくる感じで」

ふう……ふう……ふう……ふう……。

ふう、ふう、はあ……っ。

■足を絡め、いよいよ性器が重なり合いそう、重なり合う、ごく軽く動かす、動き始める

【『あっ♡』で性器が重なり合う】

んっ……♡ はあ……♡」

SE8 主人公と鳴瀬の性器が重なり合う音

【最初から最後まで流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

●正面 30センチ

「あっ♡

【照れ笑いしながら、嬉しそうに】

……へへ、繋がっちゃったね♡

【うっとりとして幸せそうに。まだ動いていないが、それでも気持ちいい】

はああ、あったか。とろとろ……♡」

SE9 主人公と鳴瀬の性器が擦れ合う音

【最初から最後まで流す】

【繰り返し流す】

【小さめの音量で流す】

【次の『鳴瀬』のセリフと重ねて流す】

【▲2 で音量が一段階大きくなる】

【▲3 で音量と速度が一段階大きく、早くなる】

【▲4 でさらに音量と速度が一段階大きく、早くなる】

【▲5 でフェードアウトする】

●正面 30センチ

「【※セリフ終わりまで※】とてもゆっくり、気持ちよさそうに呼吸しながら、合間に話す。一行ごとに少し間があく感じで。」

時折喘ぎ声が混じる。これは、とても気持ちよさそうだが、まだ余裕がある感じ。『好き
なところ、ここ』主人公が特に感じる部分』

んっふ……はあ……♡

はああ……♡ はああっ……♡

あゝ……すっ、ごい気持ちいいねえ……♡

はあ……はあ……はあ……♡

こうやって、前後に押し付けるだけでも、良（よ）すぎ……♡

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあ……♡

あ……♡ 気持ちいいねえ……♡

あ……♡ ほら……♡ 君の好きなところ……♡ ふ……♡

ふ……♡ ふ……♡ ふ……♡

ここ♡ ここ。好きだね？♡

んはあ……♡ はあ……♡ はあ……♡

ここ……ここ……♡ 気持ちいい？

一杯しようね……」

鳴瀬、近づいてキスする。

● 正面 0センチ

■夢中でキスし、動きも本格的なものになっていく。すでにかなり気持ちいい

「【※6回※】唇にキスする。 301 ねっとりしたあまあまなデープキス」

んっふ……ちゅっれえんろ……ちゅぶっ♡

はあんむ……くちゅっ♡

【※セリフ終わりまで※】

とてもゆっくり、気持ちよさそうに呼吸し、喘ぎながら話す】

はああ……はああ……あぁっ……♡

あゝ……やっぱあ……♡ 気持ち良すぎだよお……♡

ああ……ああ……あぁっ……♡

〈主人公〉

「先輩好き……好きです……大好きです♡」

鳴瀬、うまく動くために、少し離れる。

▲2 ここでSE9の音量が一段階大きくなる

●正面 15センチ

「【あまあまに、とても嬉しそうに応える。『ちゅき♡好き』『だあいちゅき♡大好き』
んゝ……？♡ ちゅきな？♡ あたしもちゅき♡

【※しばらく※ あまあまに、キス交じりに話す。

『ちゆきⅡ好き』『だあいちゆきⅡ大好き』『愛してゆⅡ愛してる』
ちゆ♡ ちゆき。

ちゆき。

だあいちゆき。

ふちゆ♡ 好きだよ……ラブだよ？♡

愛してゆ……ちゆ♡

【※9回※ 少し早く、気持ちよさそうに呼吸する】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ、はあ。

はあ……はあ……はあ……♡

【うっとり、高く喘ぐ】

ああ……♡

〈主人公〉

「ああ……先輩の声……可愛い……♡」

● 正面 15センチ

「【あまあまに、少し余裕なさげに。

『気持ちいい』気持ちいい』『幸せえっち』あまりにも気持ちよくて幸せなセックス』
ええ………？♡

あたしの気持ちい声、そんな好きい？♡

……でもさあ♡もしこんな声聞かれたらさ？♡

あたし絶対絶対羨ましがられちゃうね♡

はああ………すっごい上手くて♡

あたしの気持ちいのっ……♡全部知ってる人と♡

幸せえっちしてるって……っ♡

声聞かれたら絶対バレるもん……♡

【※5回※ 早めのペースで、気持ちよさそうに呼吸する】

はあ、はあ。はあ、はああ。

はああ………。

【特に気持ちよさそうに、低く喘ぐ】

ああっ………♡」

▲3 ここでSE9の音量と速度が一段階大きくなる

●正面 15センチ

■ものすごく気持ちよく、絶頂が見えてくる。だが、まだ比較的緩やかなペースを維持する。それとともに、主人公への想いがあふれていく

「【観念したように、余裕なさげに】

こんなのされたら、あたし、もう、駄目だわ……♡

【特にあまあまに、少し早口気味に。『ちよう、ちてⅡしよう、してⅡセックスして』】
好きだよ……好き。

好き好き好き♡

ずっとなるとちようね？♡ 現実でも♡ 夢でも♡ ずっとなるとだけちて♡

でなきや、ダメ♡ ダメダメだからあ♡

【※6回※ 早めのペースで、気持ちよさそうに呼吸する】

はあ、はあ、はあ。

はーっ、はーっ、はーっ……♡」

〈主人公〉

「せんば……わたし……」

●正面 15センチ

■セックスが絶頂に近づく。特に、主人公は限界らしいと理解する。だが、今日はまだ引

き伸ばしたい。このまま、永遠にまったりセックスをしたいと思っている。なので、あまあまに『我慢強要』する

「【とびつきり媚び媚びあまあまに。かつてないほどにあまあまに『イクの我慢』させようとする。『これ〓セックス』』

んう……？ イきそお……？ ♡ だあめ ♡

まだこれするのお…… ♡

だあめ…… ♡ イったら絶対寝ちやうじゃん ♡

だからダメダメダメダメ ♡

ほおっ、らあ…… ♡ 頑張ってえ……？ ♡

まだ、イったら、ダメえ ♡

【※5回※ 早めのペースで、気持ちよさそうに呼吸する。5回目の後にびくっと喘ぐ】

はあ、はあ、はあ。

はあ、はあ……あっ ♡

【小さく、びくっと喘ぐ】

あっ……！ ♡

【※3回ずっ※ 少し早く、呼吸と喘ぎ。ものすごく気持ちよく、絶頂が近い】

はあ、はあ、はあ。ああっ……あああっ……やああ…… ♡

まだダメ ♡ まだちゅゆの ♡

まだイっちやダメだからあ……♡

【※5回※】かなり早めのペースで、気持ちよさそうに呼吸する。もうすぐ絶頂する】
っはあ♡ はあ♡ はあ♡ はあ♡ はあ♡ はあ♡

▲4 ここでS E 9の音量と速度がさらに一段階大きくなる

●正面 15センチ

■絶頂しそうく絶頂する。これまでで一番あまあまかつ余裕がない

「【とびつきり媚び媚びあまあまに。しかし余裕なく、どんどん早口になる。高くびくっと、事故のようにあっさり絶頂する】

だゝめ……♡ だゝめ♡

イくなああっ……♡

ああ……っ♡

だあめえ♡ うあやっばあ……♡

やば……いく……いっ……く……♡

うん一緒一緒いく♡ 一緒、いっ♡ いっ♡

あっ……！♡

▲5 ここでS E 9がフェードアウトする

S E 10 主人公と鳴瀬が動く音

【最初から最後まで流す】

●正面 15センチ

■二人一緒に絶頂して、動きがびくつと痙攣した後一気に緩む。それから、主人公が『イッた証拠』として愛液を漏らしている事に気づき、興奮気味にそれを指摘する

「【※10回※】呼吸する。

かなり早く、荒い呼吸。いかにも『絶頂したて』という感じの呼吸】

はーすう、はーすう、はーすう、はーすう、はーすう、はーすう………♡

【苦しそうなのに、興奮した、嬉しそうな声で】

あっ………凄………♡

えっ………わかる位どろって来たよ………？♡

一杯出しすぎ………多いから♡

【※8回※】呼吸する。 425 早く、荒い呼吸。少しずつゆっくりになる】

はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ、はーひゅうつ………♡

【苦しそうなのに、勝ち誇ったような声で。『出しちゃう』絶頂した際に愛液を大量に漏ら

し、それが鳴瀬の性器にもかかる』

今日もなるで伊ってなるに出しちやっただね♡」

〈主人公〉

「先輩だって……♡」

●正面 15センチ

「『にやにやと、あまあまに認める。『おつゆⅡ愛液』『愛してゆⅡ愛してる』ん？♡

へへ。そおだよお………？♡

なるも君で伊って♡ 君に一杯おつゆ出した♡」

鳴瀬、近づいてキスする。

●正面 0センチ

「【※1回※】唇にキスしてから、あまあまに」ちゅ……愛してゆ♡

これからも一生♡ 一杯一緒にイこうね……♡

【※1回※ 唇にキスする。軽く触れるだけのキス】
ちゅ♡「

ここでフェードアウトして終了。